

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部
1 -	誰もが気軽にスポーツを楽しむ環境を充実する	企画政策部、都市整備部、社会教育部

所管事業に関連する成果指標

指標名	単位	改訂計画 策定時	実績値				5年度 目標値
			2年度	3年度	4年度	5年度	
各種スポーツ大会等参加者数(年間)	人	8,002	0				8,300
スポーツ施設利用者数(年間)	人	-	958,506				1,737,000

関連事業

市民総合体育大会開催事業 各種スポーツ大会開催事業 サッカー文化の振興によるまちづくり事業 サッカーを中心としたスポーツ振興事業 オリンピック・パラリンピック推進事業 ねんりんピックかながわ2021 開催事業

決算額

	2年度	3年度	4年度	5年度
事業費(千円)	8,067			
執行率(%)	64.46			

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

「市民総合体育大会等のスポーツ大会の開催」

市民総合体育大会を始めとする各種スポーツ大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、すべて中止となりましたが、スポーツ関連情報等の提供やスポーツ関係団体への運営補助を継続的に行いました。

「サッカー文化の振興によるまちづくり事業」

(公財)湘南ベルマーレサッカークラブとの連携により、サッカーの競技力強化や幼少期におけるスポーツに触れ楽しむ機会を提供しました。

「サッカーを中心としたスポーツ振興」

新型コロナウイルス感染症対策で対面開催を避けるため、親子サッカー教室、未就園児

親子運動教室はオンラインにて開催し、レディースサッカー教室は2本の動画配信を行いました。

「オリンピック・パラリンピック推進」

リトアニア共和国ナショナルチームのアスリートによる東京2020大会出場に向けたメッセージをインターネットで公開し、大会への機運の向上を図りました。また、県や市内企業等の協力を得てブラインドサッカーを中心としたイベントを実施したほか、小学生を対象にブラインドサッカーをテーマとしたオンライン授業を実施し、パラスポーツやパラリンピックへの理解を深めました。

「ねんりんピックかながわ2021」

関係団体等と調整し、実行委員会の立上げや基本計画等の策定に向けた準備を進めました。新型コロナウイルスの影響から1年開催時期が延期となり「ねんりんピックかながわ2022」へと名称が変更となりました。

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
<p>「市民総合体育大会等のスポーツ大会の開催」 コロナ危機を踏まえた市民のスポーツ活動の継続に向けた環境の整備と、多くの市民が参加できるような魅力的な大会等の開催が求められます。</p>	<p>「市民総合体育大会等のスポーツ大会の開催」 新型コロナウイルス感染防止対策も含め、市民がスポーツ活動を継続的に実施できるよう、スポーツ関連情報の提供や、関係団体と調整しながら大会開催に係る条件や方法などの検討をします。</p>
<p>「サッカー文化の振興によるまちづくり事業」 サッカーの競技力の強化と、サッカーを通じてスポーツに触れ楽しむ機会の更なる充実を図る必要があります。</p>	<p>「サッカー文化の振興によるまちづくり事業」 湘南ベルマーレとの連携を強めるとともに、ウェブサイト等で湘南ベルマーレの事業や活動内容を積極的に紹介するなど、サッカー文化の振興に取組みます。</p>
<p>「サッカーを中心としたスポーツ振興」 オンライン開催時の参加者確保の方法、また、相互コミュニケーション手段を構築する必要があります。</p>	<p>「サッカーを中心としたスポーツ振興」 オンライン開催時の参加促進のための方策及びコミュニケーション方法を検討します。</p>
<p>「オリンピック・パラリンピック推進」 コロナ危機を見据え、市民が安全に参画・</p>	<p>「オリンピック・パラリンピック推進」 リトアニア共和国のホストタウン・共生社</p>

参加できる交流事業を推進していく必要があります。

「ねんりんピックかながわ2022」
全国から集う選手へのおもてなしと、コロナ危機を踏まえ、選手及び関係スタッフの安心安全な大会開催を進める必要があります。

会ホストタウンとして、様々な分野において、オンラインやSNS等も活用した交流事業の実施に取り組めます。

「ねんりんピックかながわ2022」
主催する県及び関係団体等との調整を行い、新型コロナウイルス感染防止対策を講じつつ、交流大会の着実な開催と未病改善・フレイル予防教室等のイベントを通じ、選手へのおもてなしと本市のPRを図ります。